

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成22年12月16日 (2010.12.16)

【公表番号】特表2010-509463(P2010-509463A)

【公表日】平成22年3月25日 (2010.3.25)

【年通号数】公開・登録公報2010-012

【出願番号】特願2009-536402(P2009-536402)

【国際特許分類】

C 0 9 J 133/08 (2006.01)

C 0 9 J 11/06 (2006.01)

C 0 9 J 133/02 (2006.01)

C 0 9 J 7/02 (2006.01)

B 3 2 B 27/30 (2006.01)

【F I】

C 0 9 J 133/08

C 0 9 J 11/06

C 0 9 J 133/02

C 0 9 J 7/02 Z

B 3 2 B 27/30 A

【手続補正書】

【提出日】平成22年10月28日 (2010.10.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

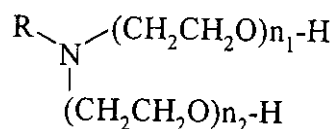
(a) アルキル基が少なくとも 4 個の炭素原子を有する第 1 のアルキルアクリレート、

(b) アルキル基が 1 ~ 3 個の炭素原子を有する第 2 のアルキルアクリレート、及び

(c) 第 1 のビニルカルボン酸、の共重合したモノマーを含むアクリルポリマーと、

式：

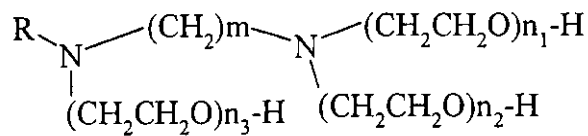
【化 1】



のアミン、及び

式：

## 【化 2】



のジアミン（式中、 $n_1$ 、 $n_2$ 、及び $n_3$ は、独立して選択され、 $n_1$ 及び $n_2$ は1を超え、Rはアルキル基であり、 $m$ は1～4である）からなる群から選択される、ジ-エトキシ化三級アミンセグメントを含む可塑剤と、を含む接着剤。

## 【請求項 2】

(i) 前記アクリルポリマーが、30～70重量%の前記第1のアルキルアクリレートと、15～35重量%の前記第2のアルキルアクリレートと、15～35重量%の前記第1のビニルカルボン酸とを含み、

(ii) 前記第1のアルキルアクリレートの前記アルキル基が4～8個の炭素原子を含み、前記第2のアルキルアクリレートの前記アルキル基が1～2個の炭素原子を含み、

(iii) アミンにおいて $n_1$ と $n_2$ の合計が5～15であり、ジアミンにおいて $n_1$ と $n_2$ と $n_3$ の合計が5～15である、請求項1に記載の接着剤。

## 【請求項 3】

裏材と、前記裏材の第1主表面に接着される第1接着層と、を備えるテープであって、該第1接着層が請求項1又は2記載の接着剤を含む、テープ。

## 【請求項 4】

(a) 第1接着層の第1部分がウェブの第1主表面に接合するように、請求項3に記載のテープを第1ウェブの該第1主表面に接触させる工程と、

(b1) 該第1接着層の第2部分を第2ウェブの第1主表面に接合する工程、又は

(b2) 第2接着層の少なくとも一部を第2ウェブの第1主表面に接触させ、第2接着層を第1ウェブの第2主表面に接合する工程、

を含む、スプライシングの方法。